

第34回 四条高倉の東北の地域

今回は、表題を「四条高倉の東北の地域」としましたが、北は六角通、南は四条通、西は高倉通、東は魅屋通で囲まれた一画です。第32回の東、第33回の南の地域です。今回は、仁丹の町名看板をかるうじて一枚発見しました。ただし、今回も、他のスポンサーの町名看板を、積極的に取り上げるようにしました。

■ 堺町通を歩く

六角堺町の十字路の東南角にチーズケーキ専門店「PAPA Jon's (パ・パジョンズ) 六角店」(六角通堺町東入る堀之上町)。自然素材にこだわった店内にカウンターとテーブル席があり、「木と土と光」をコンセプトにしています。本店は、烏丸今出川近く、同志社大学の裏。

堀之上町は、東西に通る六角通を挟む両側町。東は六角通から西は柳馬場通まで、中央を堺町通が横切っています。

六角堺町の十字路から、六角通を西へ。ここも、堀之上町。南側に甘味処・和菓子「大極殿本舗六角店(栖園)」(六角通高倉東入る南側堀之上町)。創業は明治十八年(一八八五年)。風格のある京町家。定番の焼き菓子「大極殿」、「若あゆ」。併設された

甘味処「栖園」の「琥珀流し」。

六角堺町の十字路にもどって、堺町通を南下。東側に、町名看板「堺町通六角下る(甲屋町)」①。スポンサーは藤井大丸。甲屋町は、堺町通を挟む両側町。

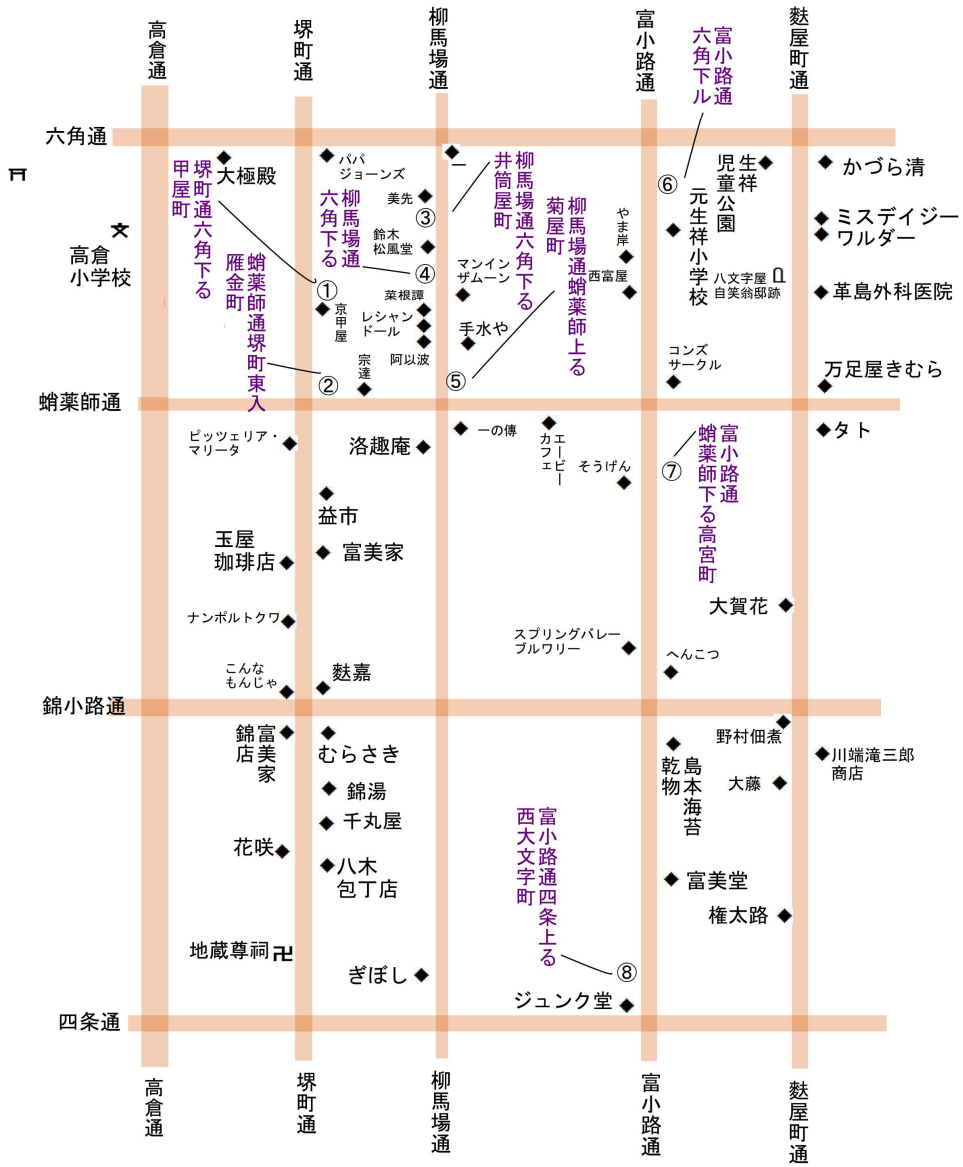
町名看板①は、京町家の北端の壁に貼ってありますが、その町家は、割烹「京甲屋」(堺町通蛸薬師上る甲屋町)。京町家をリノベーションしたモダンな日本料理店。名物は、鹿児島島の芋焼酎で炊きあげられた「豚角煮」。

蛸薬師堺町の交差点の東北角、駐車場の脇の二階屋の一階部分に、仁丹町名看板「蛸薬師通堺町東入(雁金町)」②を見つけた。

町名看板②の町屋の東隣。蛸薬師通沿いの北側に、「だし工房宗達」京都店(蛸薬師通堺町東入る雁金町)。だし教室などを開催。オリジナル商品「行平」は、昆布と削り節を配合し、一回(約五〇〇ml分)の使い切りのパックにしたもの。専用ドリッパーに入れて、お湯を注ぐだけで極上の一番出汁が作れます。昨今は、顆粒状の出汁の元で手軽にすませることが多いので、「行平」と専用ドリッパーを入手して試したいものです。

雁金町は、東西に通る蛸薬師通を挟む両側町。西は高倉通から東は柳の馬場通まで、中央を堺町通が横切っています。このことは、いくつかの建物の所在地の町名から、確かめることができます。蛸薬師通と堺町通の十字路の東南角は、町名看板②の蛸薬師通を挟んだ向かい側ですが、ここには、「高橋眼科診療所」(蛸薬師通高倉東入る雁金町)があります。さらには、堺町通と蛸薬

町名看板の所在
(四条高倉の東北の地域)



蛸薬師通堺町東入（雁金町）
②



堺町通六角下ル（甲屋町）
①



師通の交差点の西南角に「上野薬局」（蛸薬師通堺町西入る雁金町）があります。「セブンイレブン京都蛸薬師高倉店」（蛸薬師通高倉東入る雁金町）は、蛸薬師通の北側にあります。つまり、蛸薬師通・堺町通の交差点で出会う四つのブロックの町名が、すべて雁金町となっています。

「京都市の地名」（平凡社）は、「京都坊目誌」を次のように引用しています。「北側に井水あり。雁金の井と云ふ。往昔此地より鴻雁飛出てしと。故に名とす」。

蛸薬師通を横切つてすぐ、堺町通の西側に「ピッツェリア・マリータ (PIZZERIA MARITA)」(堺町通蛸薬師下る菊屋町)。本格薪窯のナポリピッツァ専門店。

堺町通をすこし南下して、東側に、焼き肉家「益市」堺町錦（堺町通錦小路上ル東側菊屋町）。

同じ東側。隣に、町屋を改造した洋菓子カフェ「サロン・ド・テオ・グルニエ・ドール (Salon de The AU GRENIER D'OR)」(堺町通錦小路上る菊屋町)が、かつてありました。また、西側に、持ち帰り専門の洋菓子店「オ・グルニエ・ドール (AU GRENIER D'OR)」もありました。どちらも、オーナーシェフ西原金蔵氏の既定方針で、二〇一八年五月三十一日に閉店。西原金蔵氏のインタビューがインターネットに収録されています。

<https://foodion.net/interview/kinzonsishhara>

同じ東側に、うどん店「富美家」本店（堺町通蛸薬師下る菊屋町）。名物は富美家鍋。もともとは、甘味処として出発したので、フルーツパフェなども販売しています

その向かい、堺町通の西側に「玉屋珈琲」（堺町通錦上ル西側

菊屋町)。京都の老舗焙煎所「玉屋珈琲店」が手がける自家焙煎珈琲店。毎朝、手で焙煎。京都の喫茶店で愛されるオーガニック豆。さらに堺町通を下がり、東側に、「トラットリア ラパーチェ (Trattoria La Pace)」(堺町通錦小路上ル菊屋町 O-ZONE ビル一階)。二〇〇九年開店のイタリアレストラン。「ウニクリームバスタ」。

その向かい、堺町通の西側。地藏尊の祠の脇の路地を入ったところに、「オ・グルニエ・ドール」の後継の洋菓子店「ナンポルトクワ (NIMPORTE QUOI)」(堺町通錦小路上ル菊屋町)があります。閉店した「オ・グルニエ・ドール (AU GRENIER D'OR)」の跡地に、「ご子息の西原祐勝氏夫妻が開いた店。「リンゴのタルト」を継承。

ここまで、北は蛸薬師通、南は錦小路の間は、すべて菊屋町で、これが堺町通の両側町であることを示しています。

錦小路市場に突き当たると、その東北角に、**麩嘉**(ふうか) (錦小路通堺町角菊屋町) 京生麩の専門店。店頭に二〇種類以上の生麩や、生麩料理にかかせない厳選した味噌などの食材。「麩まんじゅう」が人気。

堺町通を挟んだ、その向かいの西北角に、「こんなもんじゃ」(錦小路通堺町北西角中魚屋町)。「豆乳ドーナツ」、「豆乳ソフトクリームバナラ」などの「豆乳スイーツ」。

錦小路を挟んだ、その向かい。西南角に、「富美家」錦店(錦小路通堺町西入中魚屋町)。「富美家鍋」がおすすぬ。

東南角には、和菓子・豆菓子「錦むらさき」。「落花生」、「京菓子」、「昔菓子」。

さらに、堺町通を南へゆくと、東側に銭湯「錦湯」。その一軒おいて隣は、湯葉屋「**千丸屋**」(せんまるや) (堺町通四条上ル八百屋町)。文化元年(一八〇四年)の創業。京湯葉は京料理や精進料理になくはならない存在として、各宗総本山御用達。最近、湯葉鍋が食べられる食事処を売り場横に併設。湯葉鍋の具材は、湯葉・鶏肉・しめじ・白ねぎ・水菜の種のみ。湯葉としては、巻ゆば、大原木ゆばなど、形も厚さも違うものを使用。異なる食感を楽しめます。

すこし、南下して西側。祇園京料理「**花咲錦店**」(はなさき) (堺町通四条上ル八百屋町)「懷石・会席料理」、「豆腐料理・湯葉料理」。

その斜向かい。堺町通の東側に、「八木包丁店」(堺町通四条上ル八百屋町)の飯店舗。安政年間(一八五四年)に刀鍛冶として創業。磨刀令以降、料理庖丁・打刃物製造に転進。出刃包丁の銘は「源源吉」。本店舗は斜向かいに改築中。

「野村証券 京都支店」の堺町通西側の通路の壁面に、一對の地藏尊が埋め込まれています。「**応挙地藏尊**」。門標の石碑には、旧字体で「應舉地藏尊」と刻まれています。本シリーズ第10回で「**円山応挙宅址**」の碑を紹介しましたが、四条通に出るとすぐのところにあります。

■ 柳馬場通を歩く

柳馬場六角の交差点から、柳馬場通を南下しましょう。

東南角にある駐車場のすぐ南のビルの二階に、「**海鮮処**」(いぢ) (柳馬場通六角下ル井筒屋町プラネシアビル二階)。二〇一五年開業。

応挙地藏尊



柳馬場通の西側に、町家割烹「美先」(柳馬場六角下る井筒屋町)。最近、岡崎からここに移転。

その南隣は、柳馬場武田クリニックですが、その境界の所に、ロイヤルライオンズクラブの町名看板「柳馬場通六角下る(井筒屋町)」③が貼ってあります。「井筒屋町」は柳馬場通の両側町です。

柳馬場武田クリニックの南隣に、紙の和雑貨店「鈴木松風堂」

柳馬場通六角下る(井筒屋町) ③



(柳馬場六角下る井筒屋町)。明治二十六年(一八九三年)創業。紙の筒を作る所から出発したので、万華鏡などが元々の製品。それを展開して、紙の和雑貨として、万華鏡・小物入れ・あぶら取紙・ノート・台所用品など。紙が「自然にかえる」ということから『かえる』を店のイメージキャラクターとして起用し、ゆるキャラ風のかえるが店頭を飾っています。

プラスチック製のストローが、環境に悪影響を及ぼすことから、紙製のストローを採用するところが増えているようですので、松風堂がかわいいストローを売り出せば受けるのではないか。一般家庭用には、頑丈にして、使い捨てにせず、箸などと同じ感覚で日用品とすればよい。

鈴木松風堂の南側は、「綿善旅館」ですが、その塀に、幅広町名看板「柳馬場通六角下る」④が貼ってあります。

柳馬場通を挟んだ向かい(東側)は、「大学生協京都都会館(コー

ゆるキャラ風のかえる（松風堂の店頭）



「プリン京都」で、その南隣に、英国風パブ「マンインザムーン (Man in the Moon)」六角店（柳馬場通六角下る井筒屋町）。英国やドイツ、ベルギーなど世界の生ビール十種類。内装は、本場ロンドンから直輸入した家具、装飾品で異国情緒満点。

柳馬場通の西側の「綿善旅館」の一軒おいた南隣に、中華料理店「雪梅花菜根譚」（柳馬場通六角下る井筒屋町）。町屋を改装して、四川麻婆豆腐をはじめとする、麻婆豆腐の変り種を提供し

柳馬場通六角下る ④



ています。

その南隣の柳馬場通西側は、フレンチレストラン「レシヤンドール (Les champs dor)」(柳馬場通蛸薬師上る井筒屋町)。

さらに、その南隣は、京うちわ「阿以波」(柳馬場通蛸薬師上る井筒屋町)。元禄二年(一六八九年)創業の老舗。今でも禁裏御用の繊細な団扇を作り続けています。扇面と把手を別々に作り、後から差し込む「差し柄」になっていることが、京うちわの特

京うちわ（左）と普通のうちわ（右）



徴。幸いなことに、手元に両方ありましたので、比較のため、京うちわ（左）とふつうのうちわ（右）を写真に撮って掲載することにしましょう。

阿波の向かい側、柳馬場通の東側の路地の奥に、居酒屋「すしと酒手水や」（柳馬場通六角下る井筒屋町）。旧「魚戸いなせや」を引き継ぎ、屋号を変えて最近オープン。

柳馬場蛸薬師の西北角に、呉服卸商「吉川武商店」があります

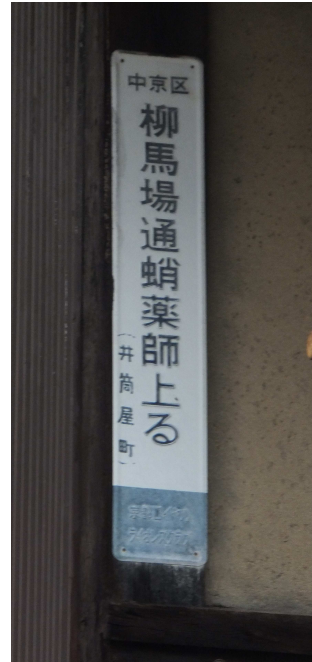
が、その柳馬場通に面した正面の二階部分に、ロイヤルライオンズクラブの町名看板「柳馬場通蛸薬師上る（井筒屋町）」⑤が貼ってあります。

同じ「吉川武商店」の蛸薬師通に面した壁に、ロイヤルライオンズクラブの町名看板が貼ってあるようです。ここは、蛸薬師通の両側町の油屋町であろうと推測できますので、多分、町名看板は、「蛸薬師通柳馬場東入る（油屋町）」。これは今後の調査をまつことにしましょう。

柳馬場蛸薬師の交差点を南へ。東側すぐに、京料理「京都」の傳本店（柳馬場通錦上る十文字町）があります。軒には「二」の字を書いた軒行燈が掲げてあります。暖簾にも、大きく「二」の字があしらってあります。西京漬けの老舗。

柳馬場通西側に、和紙工芸「洛趣庵」（柳馬場通錦上る十文字町）。友禅紙、金封、懐紙など、和紙工芸品全般。『和紙ちぎり絵

柳馬場通蛸薬師上る（井筒屋町）⑤



教室』を開催。

錦小路を横切って南下。四条通に至る直前、柳馬場通西側に、京昆布屋「ぎぼし」（柳馬場通四条上る立売中之町）があります。慶応四年（一八六八年）創業。とろろ昆布、塩昆布、出汁昆布など、昆布加工品の専門店。昆布ならなんでも。それに加えて、高級あられ「吹き寄せ」（昆布の他、あられ、海老、煎餅、豆など、二十種類以上の具が入っているお好みあられ）が有名。

■ 富小路通を歩く

富小路六角の東南の部分は、「富小路六角自転車駐車場」になっています。その南隣、富小路通の東側には、元生祥小学校の校舎を使った、「京都市教育委員会生涯学習部」（富小路通六角下の骨屋之町）があり、「子ども土曜塾」という名称で、いろいろなイベントを開催しています。

この元生祥小学校の扉に、幅広町名看板「富小路通六角下の」⑥が貼られています。

富小路西側に、「富小路やま岸」（富小路通六角下の骨屋之町）。ちようど、元生祥小学校正面玄関の真向かいです。二〇一五年開店した新しい店。ミシュランガイド京都二〇一九年に一つ星。店主・山岸将心は、嵯峨御流華範で、店舗の二階で、華道教室を主催しています。

その一軒おいた南、富小路西側に、割烹旅館「要庵西富家」（富小路通六角下の骨屋之町）。ちようど、元生祥小学校南端の向かいです。創業明治六年（一八七三年）。ミシュランガイド京都



京都市教育委員会生涯学習部（元生祥小学校）



富小路通六角下る ⑥

二〇一九年に三つ星旅館。

その南隣は、貸し画廊「津田画廊」（富小路通六角下る骨屋之町）。

「骨屋之町」は、富小路通を挟む両側町。北は六角通から、南は蛸薬師通まで。町名の由来は不明。ただ、六角通・富小路のこのあたりには、「山武扇舗」（六角通柳馬場東入る大黒町）、「山岡白竹堂」（麩屋町通六角上る白壁町）、「宮脇賣扇庵」（六角通富小

路東入る大黒町）など、扇子屋が集まっていますので、その下請けの骨屋が集まっていた可能性があります。グーグルアースの画面から推測すると、その南隣の町屋（河原田商店）の南角にロイヤルライオンズクラブの町名看板が貼ってあるようですが、これは今後の調査をまつことにしましょう。

富小路蛸薬師の西北角は、新築マンション「メロディーハイム富小路蛸薬師」（蛸薬師通柳馬場東入る油屋町）。町名表示の基準は富小路通ではなく柳馬場通を採用しています。富小路蛸薬師の東北角は、自転車屋「コンズサイクル (Kon's Cycle)」。(蛸薬師通麩屋町西入る油屋町)。店の側面が富小路通に面していますが、基準は富小路通ではなく麩屋町通を採用しています。基準として富小路通を採用しないのは、両側町としての油屋町を強調するためかもしれません。

ちなみに、「油屋町」は、蛸薬師通の両側町。西は柳馬場通、東は麩屋町通の間。中央を富小路通が横切っています。「京都市の地名（平凡社）」には、「坊目誌」の記事として、「俚称に慶長年中此町に五十嵐某と云ふ富豪あり、恒に油を販ひぎしより町名と為す」とあります。

富小路蛸薬師の交差点を曲がって西へ。グーグルアースの画面から推測すると、交差点の南西角の二階家に、蛸薬師通に面して、ロイヤルライオンズクラブの町名看板が貼ってあるようです。町名としては、「蛸薬師通柳馬場通東入る油屋町」（あるいは、「蛸薬師通富小路西入る油屋町」）が予想されますが、これは今後の調査をまつことにしましょう。

蛸薬師通をさらに西へ。富小路通と柳馬場通のほぼ中間地点。

富小路通蛸薬師下る（高宮町）⑦



蛸薬師通の南側に、カフェ「サロン エービーカフェ (ABCafe)」(蛸薬師通富小路西入る油屋町)。正面の外観は、一階の引込み部分と二階部分の境界が弧を描いていて、ほかの建物とは違っています。いろいろなイベント(「油屋町高齢者の居場所 ABCafe」、「京都ピアノとうたの音楽ひろば」など)を開催しています。

蛸薬師富小路の交差点に戻って、富小路通を南下すると、西側、クリーニング店「白洋舎」の南隣に、居酒屋「とんとん」(富小路通蛸薬師下る高宮町)。串かつ、おばんざいをあてに一杯。

富小路通をすこし南下。東側に、法衣・仏具を商う「湯浅與七商店」(富小路通蛸薬師下る高宮町)があります。その北側の空き地の電柱のところに、ロイヤルライオンズクラブの町名看板「富小路通蛸薬師下る(高宮町)」⑦が貼ってあります。

「湯浅與七商店」の向かい。富小路を挟んだ西側に、アンティーク雑貨の店「ソウゲン (Sowgen)」があります。店内は、単なる古道具屋ではない異空間が広がっています。さらには、店の奥に、カフェ。

富小路をさらに南下すると西側に、京町屋造りの店舗兼醸造所「スプリングバレーブルワリー (Spring Valley Brewery) 京都」(富小路通錦小路上る高宮町)があります。外観は、大型の町家。もともと、京都健康管理研究会の中央診療所(一九五二―二〇〇三。現在は、三条通高倉東入榎屋町に移転)であった建物をレストランとして使用し、さらに、二〇一七年に現在の形態にして開店。建物は、京都景観賞・市長賞を受賞しています。

「ブルワリー (Brewery)」とは、醸造所のこと。入口すぐには醸造スペースが設えてあり、透明のタンク内には、醸造最中のビールが見えます。ここで醸造した六種類のクラフトビールが店内で楽しめます。ペアリングという概念をワインの世界からビールの世界に転用して、六種類のクラフトビールと、それぞれのビールに合う厳選されたつまみを対にして提供。

スプリングバレーブルワリーの正面に掛けてある暖簾の文様が面白いので、切り取って載せておきましょう。この文様は、スプリングバレーブルワリーで使われる仕器に、効果的にあしらわれています。

富小路をさらに南下して、錦小路に至る直前、東側のビルの一階に、「わがまま食堂きいぼう」(富小路通錦上る高宮町)「トメゾン一階」。店頭の提灯には「魚肉菜」。二〇一七年開業。鮮魚の卸商が運営しているので、「大間のまぐろ」がうり。



スプリングバレーブルワリーの暖簾の文様

プティットメゾンのビルの南壁に沿った路地の奥に、焼肉・居酒屋「錦へんこつ」（富小路通錦小路上る東側高宮町）。黒毛和牛焼肉。

ほうきゅうあん

錦小路と富小路通の十字路の西南側に、「坊臼庵」（錦小路通富小路東魚屋町）があります。各種練り物、とくに「棒天」で有名。湯気の上がる大きなセイロが店頭にあり、タコ・じゃがバター・チーズ、いろんな具材の棒天がズラリと並びます。店の正面は、錦市場の南側に面していますが、富小路通に面した側面に休憩コーナーが設えてあり、チーズ天、ジャガバター天、夏はブルーティーな自家製スムージーが味わえます。その壁面には、地藏尊の祠があるところが、京都らしい。

錦小路を渡ったところ、富小路通の東側に「島本海苔乾物」東

店（富小路通錦小路下る西大文字町）海苔、椎茸、昆布、削りかつを等乾物類の専門店。「島本海苔乾物」錦店は、小売り専門。ふりかけ『にしきごま』が有名。どちらの店にも同じ意匠の看板がかかっています。

富小路通の東側、居酒屋「とり焼きんぐ」 四条富小路本店（富小路四条上ル西大文字町松風第二ビル一階）。大山鶏を使用したとり焼きが安価。

富小路通の西側、イタリア料理店「アルソニャトーレ (al Sognatore)」(富小路通り四条上る西大文字町)。イタリア国旗が掲げてあります。

富小路通をすこし南下した東側に、和紙・書画用品「山本富美堂」（富小路通四条上る西大文字町）。和紙卸、和紙製造、絵画材料・絵具、紙工品、紙製品、工芸紙製造、書道用品、はがき製造、便せん製造。明治五年創業。

「山本富美堂」の南は、「メデイナ四条富小路」のビル。一階は、「すし旬」。二階に居酒屋「棲家富小路」（京都府京都市中京区四条通富小路上ル西大文字町）。さらに、南隣は、「四富会館」。飲み屋がずらりと並んでいます。

富小路通の西側、「京庵」の南隣に、「京味処そわか」（富小路通四条上る西大文字町）。鱧、すっぽん、ふぐなども、それなりの価格で。アットホームな和食処。

富小路通の西側、南隣の民家の南壁に沿って路地があります。その入口に、ロイヤルライオンズクラブの町名看板「富小路通四条上る（西大文字町）」⑧が貼ってあります。

すぐ南のビルの一階部分に張り出して、「麵屋虎杖」 四条富小



富小路通四條上る（西大文字町）⑧

路店（富小路通四條上る立売東町）。トッピングがいろいろのカラー担々麵。

富小路を南下して、四條通にでたところ西側は、大型書店「ジュンク堂書店 京都店」（四條通柳馬場東入る立売東町 ステラ四條ビル一階―五階）。その地階には「旬鮮だいにんぐ天狗」 京都四條通店。

「立売東町」は、四條通の両側町。西は柳馬場通、東は麩屋町通の間。中央を富小路通が横切っています。

■ 麩屋町通を歩く

今回の麩屋町通の出発点は、六角麩屋町の西南角にある「生祥児童公園」。

六角麩屋町の東南角には、「かづら清老舗」六角店（六角通麩屋町東入る八百屋町）。つばき油とつげ櫛で有名。慶応元年（一八六五年）創業。

麩屋町通を少し下がった東側にあるマンション「ハイマート・麩屋町」の一階部分の北側に、深緑色を基調にした英国風外観の喫茶店「ミス デイジー (Miss Daisy)」(麩屋町六角下る坂井町)。二〇〇二年創業。古き良きイギリスを模した店内で、英国式アフタヌーンティが楽しめます。

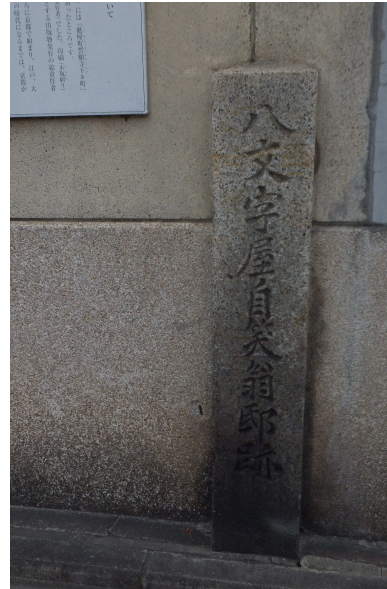
同じマンションの一階部分の南側に、パン屋「ワルダー」(麩屋町六角下る坂井町)「ワルダー (Waldar)」とは、ドイツ語で森 (Wald) という単語の複数形。シェフの苗字からとった店名です。ドイツ系のパンを提供。二〇〇七年山科の人気パン店ワルダーがここに移転。

喫茶店「ミス デイジー」とパン屋「ワルダー」は、アーチ状のマンション入口部分を挟んで、同じ一階の左右を占めています。今風に調和した景観なので、その様子を下手な絵に描いてみました。

西側は、元生祥小学校のグラウンドを囲む塀が続きますが、その塀の半ばに、「八文字屋自笑翁邸跡」の碑が埋め込まれています。

その左上に、銘板がはめ込まれており、そこには、次のような解説が記されています。

ミス
デイジー（左）とワルダー（右）



「八文字屋自笑翁邸跡」の碑

草紙屋・八文字屋について

この地は、江戸時代前期（一七世紀後半）には、「麩屋町誓願寺下ル町」といい、八文字屋という本屋の店舗があったところです。

当時の本屋は、典籍・草紙類の版元（発行者）でした。印刷（木版刷り）と製本（和綴じ）、そして、販売をも業とする出版物発行の総責任者だったのです。

日本の出版業は、江戸時代の初めごろに京都で始まり、江戸、大坂でも盛んになっていきますが、明治の時代になるまでは、京都が出版において日本第一の都市でした。

江戸時代初期の京都では、仏書・儒書・漢詩文書・和学書・和歌書・医書・さらに俳諧書・教科書・遊芸書などが出版されていましたが、江戸中期ごろになると、一般庶民を読者にした劇書や噺本などの出版も盛んになってきます。

八文字屋では、二代目・自笑（通称、八左衛門）の代になりますと、歌舞伎芝居の筋書きを読み物にした「絵入狂言本」や、「役者評判記」という当時の歌舞伎役者の評判を、毎年、新版で発行し、劇書では、第一の版元になります。これに加えて、江島其積の「けいせい色三味線」や「傾城禁短気」などの「浮世草子」という大衆小説本を読みやすい文字と著名な浮世絵師の挿絵入りで出版して、ベストセラーとなり、文学史上「八文字屋本」と呼ばれる時代を築きます。その小説作法は、江戸後期（十八世紀後半ごろ）の小説本や、明治時代の小説などにも大きな影響を与えました。

そこから南に下がったところの東側に、一面に蔦葛で覆われた「革島外科医院」（麩屋町通六角下る坂井町）があります。昭和十年（一九三五年）に建設。登録有形文化財（第26-0203号）。正面左（建物の北側）に特徴的な円筒形の塔屋と尖がり屋根。尖り屋根の先端にある避雷針もアールデコ風で、印象的です。グーグルアースの画面を切り取ったものを掲載します。画面でわかるように、現在の診療棟はその建物の南のマンション「緑の館アネックス」の一階部分のようです。

革島外科医院（グーグルアース画面より切り取り）



蛸薬師麩屋町の東北角には、和装小物・呉服・悉皆屋「万足屋きむら」。

蛸薬師麩屋町の東南角には、スペイン料理「タト (Tato)」(蛸薬師通麩屋町東入る蛸屋町)。地中海料理 スペイン料理。オーナーはスペイン出身。

麩屋町通の西側に、立ち飲み食堂「大賀花」(麩屋町通錦小路上る梅屋町)。

錦小路麩屋町の西南角には、京佃煮「野村佃煮」(麩屋町通錦小路下る榎屋町)。店舗は、錦小路を向いているが、所在地をみるかぎり麩屋町通に面したほうが正面。高級塩昆布「舞扇」、「ちりめん山椒」など。

錦小路を横切って、麩屋町通をさらに南下すると、「川端滝三郎商店」(麩屋町錦小路下る榎屋町)。一九一二年に創業した老舗の間屋が、最近開業した小売店。日用品雑貨、キッチン雑貨、陶磁器など。

少し下がった西側に、京漬物「大藤」(麩屋町通錦小路下る榎屋町)。千枚漬で有名。看板には「創業慶応元年・千枚漬本家大藤」と大書されています。

麩屋町通をさらに南下すると西側に、「権太路」(麩屋町通錦小路下る榎屋町)。玄関右脇には、地藏尊の祠。創業は明治四三年。定番のにしんそば、天ざるそばはもちろん、京風うどんすき「権太呂なべ」が名物。

■ 錦市場の菓子店、甘味処

最後に、錦市場にある菓子店、甘味処を紹介しておきましょう。出発は、麩屋町との交差点から。

まず、東は麩屋町、西は富小路の間の店舗を紹介しましょう。両側町ですから、いずれも東魚屋町です。

- 北側四軒目に、「錦 幸福堂」(錦小路通麩屋町西入る東魚屋町北側)。「ごじょうぎぼし最中」、「手打ちよもぎ」、「三色だんご」など。

- 北側に、黒豆茶庵「北尾」。文久二年(一八六二年)に創業。一階では菓子などの黒豆製品を販売。一階の奥と二階は、食事や喫茶。黒豆づくしの「黒豆御膳」が有名。自分で石臼を回して黒豆きな粉を挽く体験ができます。

次は、東は富小路、西は柳馬場の間の店舗を紹介しましょう。ここも町名は、東魚屋町です。

- 北側に、「錦まるん」(錦小路通柳馬場東入る東魚屋町)。ころんべいとうや京飴、抹茶菓子などを販売。「福だるま」「ぴこまるん」など、名前のおもしろいものがあります。

- 南側に、「コロコロコ」錦店。最近開店した菓子屋。京の老舗と共同で開発した菓子を販売。豆菓子や京飴、あられや衛生ボーロなど。

- 南側に、「錦 もちつき屋」餅の専門店。「大入豆のし餅」、「焼餅」が有名。

次は、東は柳馬場、西は堺町の間の店舗を紹介しましょう。町名は、中魚屋町です。

- 北側に、「まるしげ」（錦小路通堺町東入ル中魚屋町）。おかし全般、干菓子、半生菓子、昔なつかしい駄菓子。「呼吸チョコ」の名称がおもしろい。
- 南側に「SNOOPY茶屋 京都・錦」（錦小路柳馬場西入中魚屋町）。一階で、和菓子や野菜ソフトクリームなど。また和雑貨など。二階では、飲み物や食事を提供。

次は、東は堺町、西は高倉の間の店舗を紹介しましょう。町名は同じ中魚屋町です。

- まず、北側に抹茶スイーツ処「茶和々」 錦市場店（錦小路通高倉東入中魚屋町）。「抹茶わらびもち」、「抹茶大福」、「濃抹茶クッキー」など。
- 北側に、京生菓子司「畑野軒老舗」。高級青海苔を使用した「生ふまんじゅう」。「豆大福」、「やき餅」など、品ぞろえ豊富。
- 北側に「寺子屋本舗」。「もち焼き煎餅」の専門店。とくに、「黒豆しょうゆ餅」。
- 南側に「京のおまめはん」。「豆菓子カップ詰め放題」や「豆キューブ（全十五種）」。

プロフィール

藤田眞作（ふじたしんさく）。一九四四年（昭和十九）北九州市生まれ。学生・大学助手として、十年間、京都で生活。工学博士を取得後、二十五年間、富士写真フイルム（株）足柄研究所にて、記録材料用の有機化合物の開発に従事。この間の仕事は、二〇〇四年に、モノグラフ「Organic Chemistry of Photography」(587ページ)をドイツのSpringer社から出版。数理化的方面の仕事は、一九九一年に、モノグラフ「Symmetry and Combinatorial Enumeration in Chemistry」(368ページ)をドイツのSpringer社から出版。次の十年間は、京都工芸繊維大学教授として、有機合成化学・情報材料化学・化学情報学・数理化の研究教育に従事。そのかたわら菓子をもとめて京都市内を徘徊し、仁丹の町名看板に興味をもつ。二〇〇七年より、湘南情報数理化研究所 (<http://xyntex.com>) を主宰。それまでの数理立体化学に関する仕事の集大成として二〇一三年に、モノグラフ「Combinatorial Enumeration of Graphs, Three-Dimensional Structures, and Chemical Compounds」(576ページ)をセルビアのKragujevac大学出版局 (Mathematical Chemistry Monographsシリーズ第15巻)より出版。および二〇一五年に、モノグラフ「Mathematical Stereochemistry」(437ページ)をドイツのDeGruyter社から出版。



「仁丹の町名看板をよすがに京めぐり」(第34回) 2019/5/31

© 2007, 2008, 2010, 2017, 2019 藤田眞作

<http://xyntex.com>